

兵 庫 県
保 險 協 会

加古川
高砂

支部ニュース

No. 242

2017年4月25日

発行

兵庫県保険医協会 加古川・高砂支部

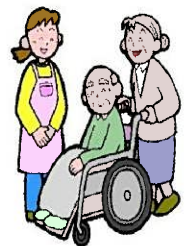
(連絡先) 神戸市中央区海岸通一丁目三三

神戸フコク生命海岸通ビル五階

電話 〇七八 (三九三) 一八〇一

第33回地域医療を考える懇談会

「脱家族」介護で終末期支援



2月5日に開催された「第33回地域医療を考える懇談会」(24号既報)に参加した宮武博明副理事長の感想を紹介する。

「地域包括ケアと多職種連携」在宅での終末期をささえる取り組みから」のテーマで、雨の中、加古川プラザホテルで開催されました。

報告①では、加古川市・西村医院西村正二院長が「在宅での終末期をささえるとりくみ・多職種連携の現状と課題」について熱弁を振るわれました。特にがん患者の苦痛・苦悩においては、身体的苦痛・社会的苦痛・精神的苦痛・スピリチュアルペイン(↑なぜかカタカナ英語)が絡み合って「全人的苦痛」が構築されることを強調されました。介護認定の先取り、経済的支援、終末期リハビリテーションなどさまざまな視点から支えていく道筋を力説されました。「ライフサイクルと永遠」のイメージでは「生まれる前も無↓死は同じ場所への回帰」を示され「輪廻」



質問をする宮武副理事長

を彷彿させました。「倫理的に適切な看取りとは」では、本人の意思・家族の同意・社会的コンセンサスの担保などが大前提と結ばれました。なお有床診療所の西村医院では在宅死亡は70%を超えておられます。

報告②では高砂市・三木医院三木健史院長が「認知症患者の緩和ケア」について発表されました。特に終末期の判断では、①繰り返す発熱・肺炎、②自発言語の減少、③笑う能力の喪失、④昏睡の4項目を挙げられました。終末期のケアとして、安楽な呼吸・心地よい排泄・安楽な姿勢・新たな苦痛を与えない・美しい姿の維持、に努める工夫・配慮が要ることを強調されました。また認知症末期の胃瘻では延命効果のエビデンスはあまりないことも言及されました。そして認知症は「がん」と違い、医師(医療)への依存度が低いので、ケアマネジャーがチームリーダーとなることが多いとのこと。訪問看護、ヘルパー、家族からの情報が不可欠です、との言葉で結ばれました。

点から見る地域包括ケア」について報告されました。加古川市も人口減少高齢化の波に吞まれていきます。ケアの主体は地域住民でキーマンはケアマネジャーということ。目指すのは脱家族(家族だけに頼らない)介護です。多職種での地域ケア会議を重ねながら「ふれあいいきいきサロン」「ウエストねっと」「あさがおカフェ」「オープンサロンしかた」を催して地域との関係づくりを構築しておられます。10時に始まって12時05分に終了しました。見渡した感じでは多職種の方が参加されたようでした。質問・討議の時間ももう少し欲しかったです。

(副理事長 宮武博明)



報告者 (左から坂本明氏・三木健史先生・西村正二先生)

報告③では、地域包括支援センター・かこがわ西・社会福祉士・坂本明氏が「ソーシャルワーカーの視

☆支部幹事会だより☆

3月23日(木)19時～於加古川商工会議所500会議室

<報告> 医療情勢、県知事選挙対策、「医療・介護の患者負担増中止を求める」新署名の取り組み(支部日標:参加率10%・署名数1860筆)、医療安全管理研修会、今後の支部企画について討議しました。

<次回日程> 幹事会には、会員の先生はどなたでもご参加いただけます!!

4月27日(木)19時～於加古川商工会議所地下1階特別室

お問い合わせは、TEL 078-393-1805 FAX 078-393-1802 担当:沖野まで

兵庫県保険医協会加古川・高砂支部 医療安全管理研修会

外来における感染防止対策

現在、すべての医療機関に義務付けられている医療安全管理について、医療・介護現場における感染防止対策に関する基本的な考え方、標準予防策の基礎知識を中心に、加古川中央市民病院 医療安全管理部 院内感染対策室副室長の竹内久枝氏にご講演をいただきます。

実技ではブラックライトを使用した手洗い演習、手袋やガウンなどの適切な外し方、汚物処理などの演習も行う予定です。

医療安全管理対策研修は、医療法ですべての医療機関の従事者に義務付けられ、年2回の研修実施が求められており、保健所の行う立入検査でチェックされています。受講者には受講証を発行させていただきます。

先生はもちろんスタッフの方、皆さまお誘いあわせのうえご参加ください。

日時 6月10日(土) 午後2時30分～4時30分

会場 東播磨生活創造センターかこむ1階 講座研修室
加古川市加古川町寺家町天神木 97-1

※加古川総合庁舎の駐車場は3時間を超えてご利用できないため近隣の駐車場のご利用をお勧めします。駐車場台数に限りがあり混雑が予想されますので公共交通機関でのご来場にご協力願います。



講師 加古川中央市民病院医療安全管理部
院内感染対策室副室長感染管理認定看護師
看護師長 竹内 久枝 氏

参加費 1,000円

※研修会後に受講証を発行します。(JR加古川駅下車南口より徒歩5分 加古川ラサ 村A南側100m)

※お電話でのお問い合わせは、担当事務局 沖野まで TEL:078-393-1805

加古川・高砂支部医療安全管理対策研修会(6/10)参加申込 FAX 返信 078-393-1802

参加者氏名	職種	参加者氏名	職種

地区() 医療機関名()
会員氏名() ご連絡先()

4月から組織拡大月間が始まりました!

ご家族・お知り合いの先生を ご紹介ください

保険医協会は県下で7,300人以上の医師・歯科医師が入会し、開業医が安心して診療に打ち込めるよう支えあう、開業医自身がつくる団体です。医学の進歩と医療技術の向上、変化する医療制度への対応、怪我や病気など万が一の時の備えなど、開業医の診療、経営、生活を全面的にサポートします。勤務医の先生も県下で1,500人を超える先生方にご利用いただいております。

ご家族やお知り合いの先生で、まだ協会未入会の先生がいらっしゃいましたら、紹介状などのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

お問い合わせ等は、組織部 (Tel 078-393-1817) まで

— 保険医協会の共済制度がお勧めです! — 受付期間はお問い合わせください

団体定期生命保険 **グループ保険** 保険の見直しに効きます!
ネット生保と比べてみてください

- 団体保険だから断然安い保険料
- 過去8年の平均配当率4.6%
- 最高5000万円の高額保障
- 最長75歳まで保障
- 配偶者1000万円セット加入
- いつでも増額・減額OK

1月から制度改善を実施
66~70歳の最高保障額を、
3000万円に引き上げました。

傷病時の休業に備えて 非営利の共済が有利です **休業保障制度** 割安掛金が満期まで上がりません
脱退一時金、弔慰金給付あり

積立金総額1兆2千億円 中長期の資産運用に **保険医年金** 自在性が魅力! 1口単位で解約・
中断・再開が可能

協会の積立年金 従業員も加入OK! **DefL デフェル** 個人年金保険料控除がとれる個人
年金型と自在性の一般型

所得補償保険、医賠償、団体割引きの自動車保険と火災保険

お問合せは共済部まで ☎ 078-393-1805

☆支部ニュースへの投稿を募集しています☆

支部ニュースへの投稿を募集しています。

日常診療にかかわることや、主張、趣味のお話などお寄せください。



TEL 078-393-1805 / FAX 078-393-1802

e-mail miki-o@doc-net.or.jp 担当; 沖野まで